



一ヶ月 一冊二十五銭
一ヶ月 一冊二十五銭
一ヶ月 一冊二十五銭
一ヶ月 一冊二十五銭

發刊の辭

行詰りを歎じられる新聞經營、雨後の草の様に生け出づる各種の新聞紙、餘りにも悲惨な、予盾な現實、本紙も其の一ツだ云はれるであらう、だが斷崖を知つて飛越せんとし深淵を見て躍進まんとするには相當の覺悟がある、生れ出た以上は新聞紙本來の精神を顯現せんことを契ふものである、ありふれた模倣、追隨ではない、人眞似新聞ではない、本紙の信條の一端を上ぐるなれば、見よ終了直後の普選第二の實行の趾の如き官權、金權の干渉によつて汚された事實が歴然たるものあるではないか、吾人は單に政界の毒化をのみ憤るものではない、社會の淨化、夫れには新聞紙の尊き使命、はたまた威大なる勢力のあることを自ら信する新聞は社會の爲に社會を報導するのだ、故に有寄記事を極力排して常に公共の利益の擁護者たるの自覺を必要とする筆を曲げ節を賣つて堂裏に隠れる怪物であつてはならない、雜報にも、論説にも、廣告にも、新聞紙の人格を欠いては完全であり得なからう、一度紙上に掲載する全てに對して曲報にも、誤報にも、落報にも、責任を忘れてはならぬ。

「オノ」をふるつて 「まま」母を斬る

石城郡湯本町字八仙入山炭礦坑夫長尾居住西白川郡矢吹町大字新田字東一〇〇金太郎長男中島武夫(三三)は今廿四日午前十時頃居宅内で新割用の斧を以て繼母である金太郎内縁の妻田村郡中郷村大字貝山字堀田二三六政吉長女橋本なつ(與)の後頭部に一撃を浴せ更に之れを仲裁せんとした實父金太郎(四四)の前額を斬り現場を逃走した急報により井上請願巡査が馳つけ隣家に潜伏してゐた犯人武夫を捕縛した被害者は入山病院の加療中であるがなつは重傷で金太郎は全治數週間を要する由で原因は上京中脚氣症に罹り歸宅した武夫の徒食男の溺死あるを通行人が發見し警署に通報した結果この兇見警署の検視で泥酔の結果行を演ずるに至つたものであつたと。

改革概論(一)

大内は安達郡山田村の産で、編纂の小學教育に従事すこと十年、後米國に渡りシラントンに三ヶ年の教育研究を経て、ハツイ在留邦人の請に應じ全地のボノル、學園長、學務部視察、ハワイ中學、校教諭等を兼職したる人で現に全地的小學教科書に使用されてゐる日本國本の編纂には金若も此の委員の一人であつた、本日は近公にこれらとすもの、

平町才絶小路
大谷屋酒店
味噌醬酒
酒類醬酒
電話九〇六番

湯本の火事

石城郡湯本町字寶海二八無職神原長命(五五)方炊事場から廿日午前二時半頃出火し全家を全焼したが放火の疑あるので警署の嚴探の結果、金千圓ほしさのそれらしく右長命は目下取調中

土一の溺死

石城郡湯本町字トガリ澤地内藤原所都合上已むを得なかつたのであります工場設備の整ふまで本紙幅で續けます

石城郡平町五丁目廿番地
東部電力株式會社 平營業所
電話七五番 壹六二番

吉村製綿問屋
吉村安次郎
平研町電話二七五番

米穀雜貨商
金成商店
平町字研町

第一回 産婆看護婦 募集
一 修業年限 産婆通じて一ケ年
一 募集人員 八十名願書四月八日迄
一 入學資格 高等小學卒業若くは之と同等以上の學力ある者(無試験)

平町一丁目電話三五一番
磐城産科婦孺學校
校長 應崎千代

高岡屋商店
平研町電話四〇六番

正しい道 雙手を擧げて

啓、久しく御無沙汰いたしてゐます、大阪に來てから約一ヶ月を経んとしてゐる今日、この新聞紙に對して投げられるものは當にふくらむ若芽、堂島川の新聞紙にとつて豫想し得のび寄る春の吐息がうかがはれます、正しい時の歩み、昨年、松ヶ岡に早春の訪れを見舞つたことなどを思へば、追憶の糸は徒らにたぐられてきま

す。「正しい報導」をモットーに御刊の知らせ、地方紙多しといへど極めて有意義な企てとして双與論の指導者、社會の木鐸手を擧げるに吝でありま自ら白衣の宰相として高きせん、正義觀を筆陣の大を押しつゝある近代新聞紙の願ひ致します。(榎本生)

新聞批判 (一)

報知新聞大阪支局

榎本紀一

故ウツドロー、ウイリッ

ンは一意見の食物はその日のニュースである」といつたが今更いふまでもなく近代生活において必要欠くべからざるものは新聞である、實際あらゆる生活においての刺激と官能の鋭さからして、近代人はまづ自分の意見を述べる前に新聞紙を讀むのである、文化の進歩に伴ひ益々複雑化してゆかんとする近代社會において新聞紙は確かに一般民衆の精神の糧食であり得ることはか一新聞紙は讀者本位に作



木炭情報

悪いも讀者次第だ」とか唱の向上を裏書するものどもへられ、新聞紙のセンセー云へやう、尙ほ全組合の本シヨナリスムの傾向は一般年度豫算は財界不況に鑑み讀者の責任で新聞紙自らの從來の検査料一錢二厘を一罪ではないとさへいはれる錢に生産荷表の三厘を二厘一見虫のよい話だが亦一面五毛に引下げ緊縮の中に一眞理を含んでゐるものと見做るの活躍を計劃されてゐるなければならぬ、需要と供給の關係も亦此の場合原埋である、新しい新聞紙の傾向として讀者の自己中心主義に代るに、人間の本能的共通性を求めて煽情的ニユースの速報が一般に欲求される、此處においてセンセーシヨナリスムに對する讀者心理の密接なる關係があり、讀者の官能興奮に對する充足を條件としての支持欲求があることが明確に看取されるのである(續)

榎三郡木炭同業組合は去大正十一年八月の認可で全年十二月から活動に着手し爾來九星霜を経て今日に及んでゐるが現在二千三百五十名の會員を有するに至つた組合の設立によつて成績の跡を摘記すれば斯業改良のため大正十三年以來指導員次郎、折笠宗義、齋藤守重を置く品質の向上並に規格の統一さらに昨四年から等級検査を實施するに至り中央市場に於て一躍聲價を高め今や岩手、青森産の優良品に遜色なきを稱へられてゐる當年の生産高百廿萬圓を組合設立當時の二百五十萬圓に比し激減を悲しむものもあるも生産の減少は品質

酒銘 白萩 發賣元 平町研町 白萩支店 電話四四三番 面白く 治安く 御料 尼忠 平新田町 電話八六五番 海産物卸商 仙臺商店 平長橋町 電話五四八番

共濟 各科專門 耳鼻科 醫學士 井上俊次郎 咽喉科 醫學士 渡部貞助 産婦人科 醫學士 松枝茂 外科 醫學士 桂重 内科 醫學士 難波次 光線科 醫學士 難波睦 衛生科 醫學士 高藤睦 試驗場 技師 高藤睦 藥局 藥劑師 岡本孝平 本院醫事 法學士 賀澤忠治 本院主事 賀澤忠治 一衛生試驗所 (共濟病院内) 一救氣相談所 磐城共濟會 平町五丁目 電話六四一番 處方調劑 藥品一般 計量器 滋養藥品 化粧品 山野邊藥局 藥劑士 山野邊東次郎 漆家具問屋 丸ほん家具店 工場 平町月見町 電話七二三番 磐城平町三丁目 電話三五九番